

特定医療法人 萬生会 キャリアラダー 各レベルに対応した学習内容

定義	レベル	I (1年目)	II (2～3年目) 中堅	III (4～7年目) リーダー	IV (エキスパート)	V (スペシャリスト)
	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる  【学習内容】 ・フィジカルアセスメントの必要性と方法 ・バイタルサインの観察と解釈 ・身体機能、意識レベルの評価(障害高齢者日常生活自立度、認知症高齢者日常生活自立度、PS、H-Jの分類、褥瘡評価・褥瘡リスク評価、JCS・疼痛評価) ・検体採取と取扱い(血糖測定・静脈血採血・動脈血採血介助) ・モニター心電図 ・12誘導心電図	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる  【学習内容】 ・入院支援研修 ・呼吸器系・循環器系・中枢神経系のフィジカルアセスメント ・コミュニケーション研修	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる  【学習内容】 ・入院支援研修	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる
	ケアする力	【レベル毎の目標】 助言を得ながら、安全な看護を実践する  【学習内容】 基本的看護技術(新人看護職員研修ガイドライン) ①環境調整②食事援助③排泄援助④活動・休息援助⑤清潔・衣生活援助⑥創傷管理⑦呼吸・循環を整える⑧与薬の技術・輸血⑨救命救急処置⑩症状・生体機能管理⑪疼痛の緩和・安楽確保⑫感染防止⑬安全確保の技術	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する  【学習内容】 緩和ケアの基礎 がん看護(治療における看護) 誤嚥性肺炎予防(食支援・口腔ケア) 認知症ケア・せん妄ケア 皮膚排泄・スキンケア 褥瘡・創傷ケアと予防 心不全・呼吸不全看護 がん化学療法看護の基礎 急変時の対応 セルフケア能力の向上支援	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する  【学習内容】 セルフケア能力の向上支援 苦痛の緩和 様々な疾患における緩和ケア ELNEC・コアリキウム BLSプロバイダー・ICLS研修	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	協働する力	【レベル毎の目標】 関係者と情報共有ができる  【学習内容】 ・報告、連絡、相談	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる  【学習内容】 がん看護(地域連携・在宅ケア)	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる  【学習内容】 高齢者の暮らしを支える看護職連携	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】 ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る  【学習内容】 ・患者の権利と看護者の責務 ・看護師の倫理綱領 ・個人情報保護 ・入院支援研修	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる  【学習内容】 ・臨床倫理 ・意思決定支援	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる  【学習内容】 ・臨床倫理 ・意思決定支援	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる  【学習内容】 ・臨床倫理 ・意思決定支援
組織的役割遂行能力	レベルの定義	責任の最も軽い、難易度の最も低い、軽微な組織の役割を果たす。看護チームでは、フォロアーやチームメンバーの役割、病棟の係としては簡単なルーティンの係の役割を遂行できる。	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて、基準や手順を順守した行動がとれる。日々の看護業務においてリーダーシップがとれる。	所属する職場で、組織的役割が遂行できる。看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としては、創造的能力を要求される係の役割を遂行できる。	看護チームでは、チームリーダーやコーディネーターの役割、病棟での係としては、創造的能力を要求される係の役割を遂行できる。所属する職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割(学生指導、業務改善係、学習会係、教育委員、リスクマネジメント係など)を遂行できる。看護単位の課題の明確化ができる。	所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる。看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる。
	学習内容	・萬生会沿革・理念・基本方針 ・組織の仕組みと就業規則 ・目標管理と事業計画・看護部目標 ・接遇(電話対応・服装規定含む)研修 ・看護必要度・優先順位を考慮した時間管理 ・診療情報の取扱い、電子カルテ操作 ・物品管理	KYT プリセプター研修	医療安全分析手法研修 リーダーシップ研修 KYT	・職場のメンタルヘルスマネジメント研修 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修 KYT	・管理者研修(人事労務管理・目標管理・人材育成人材活用・マーケティングとデータ管理・モチベーション支援) ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修 KYT
自己教育・研究能力	レベルの定義	自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる。	自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる。	自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる。	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる。	単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる。
	学習内容	・事例のまとめ	看護研究研修		研究発表	